

会議の要旨

会議の名称	令和4年度 第2回和泉市教育委員会評価委員会
開催日時	令和4年7月7日(木) 10時00分～11時33分
開催場所	和泉市役所3階 庁議室
出席者	和泉市教育委員会評価委員会 委員長 平良 伸哉 委員 杉田 菜穂 委員 川口 厚 生涯学習部 部長 辻 公伸 次長兼久保惣記念美術館館長代理 辻野 明子 生涯学習推進室長 西田 尚司 生涯学習担当課長 橋本 吉人 スポーツ振興担当課長 山本 国央 青少年センター所長 藤原 寛 青少年センター参事 堀内 真弓 文化遺産活用課長 森下 徹 文化遺産活用課総括参事 乾 哲也 久保惣記念美術館総括参事 橋詰 文之 教育・こども部次長兼教育総務課長 鍛冶 公哉 教育総務課主事 川崎 由美
会議次第	1. 開会 2. 教育次長あいさつ 3. 評価委員紹介 4. 職員紹介 5. スケジュール確認 6. 生涯学習部ヒアリング (1) 久保惣記念美術館 (2) 文化遺産活用課 (3) 生涯学習推進室
ヒアリング内容	
取組項目番号24	美術館の運営
杉田委員	コロナ禍での企画は難しい状況だと思うが、アフターコロナを見据えた戦略はあるのか。
辻野館長代理	旅行会社が企画したリモートによる展覧会講座が好評だったこともあり、リモートの活用も視野に入れている。
川口委員	美術館と学校の連携の再開についても検討しているか。

辻野館長代理	文化芸術ふれあい体験事業については、令和4年度は対面して実施することを学校教育室と協議中。
平良委員長	和泉・久保惣ミュージアムタウンコンソーシアムについて、詳しく教えて欲しい。
辻野館長代理	国の地方創生交付金を活用して、美術館の概ね半径2km圏内にアーティストが活動する拠点を創る事業。美術館の近くの古民家はカフェやギャラリーに改装し活動を始めている。コンソーシアムという組織を立上げ交付金がなくなった後も自立して運営できる仕組み作りをしている。
取組項目番号22	文化財の調査研究・保護継承
川口委員	郷土史読本を活用した授業は小中学校のどちらで行う予定か。
森下課長	小中学校どちらも実施する予定。
平良委員長	配付対象者は。
森下課長	歴史を勉強する小学6年生から中学2年生に配付予定。
平良委員長	他の学年でも活用できないか。
森下課長	総合学習や地域学習のように様々な場面で活用できるよう方法を検討。
取組項目番号23	文化財の活用
杉田委員	池上曾根イベントマラソンの内容と規模は。
森下課長	当初は令和4年3月から6月まで、マンスリーイベントとしてフォトコンテストや池上曾根遺跡検定等を、また、4か月の期間横断型イベントとしてデジタルスタンプラリーやサーカス等を行う予定だったが、サーカスには5月までで33,000人あまりの来場者があり大変好評であるため、8月まで延長して実施することとした。
取組項目番号27	青少年センター活動
杉田委員	アフターコロナを見据えた計画はあるか。

藤原所長	ユースゼネレーションは非常に好評であるため、市民ニーズにできる限り応えていきたい。
取組項目番号 19	スポーツ施設の運営
杉田委員	「今後の課題等」の1つ目に、「利用者の要望に応じた修繕・改善等の実施」とあるが、利用者の要望を把握する方法は。
山本課長	月に1、2件、利用者が施設管理者へ意見したり、事務局に電話が入ったりする。その対応については指定管理者との定例会で確認する。
平良委員長	市のホームページには、光明池周回ランニングコースしか掲載されていないが、他のコースの表示は。
山本課長	他のコースの距離表示を今夏行う予定で、全て表示できた時点でホームページに公開予定。
取組項目番号 20	スポーツ活動の普及
杉田委員	学校開放（夜間照明）の実費負担の動向は。
山本課長	体育館空調設備使用の実費徴収を開始したのが令和3年9月であり、利用実績がないため、動向はつかめていない。
川口委員	令和5年度から休日の運動部活動を段階的に地域移行していくとスポーツ庁が示しているが、本市での取組み状況は。
鍛冶次長	学校教育室主導で部活動のあり方を整理した上で、生涯学習推進室と協議を行っていく予定。
取組項目番号 28	図書館の運営
川口委員	自習室のオンライン予約システムは、システムを利用しない場合も自習室を利用できるのか。
橋本課長	当日、図書館に設置している予約システムの端末にて手続きし利用できる仕組み。

平良委員長	南松尾小学校の跡地や、今後、教育センターの跡地を利用して、自習室の拡充を検討してはどうか。
橋本課長	市民ニーズを勘案しながら検討していく。
取組項目番号 29	子どもの読書推進
杉田委員	図書館をめぐる課題について、どのように認識しているか。
橋本課長	令和2年度に比べ令和3年度の来館者数は約6万人増加したものの、新型コロナウイルス感染症の影響がなかった平成30年度までは回復していない。 少しでも読書の機会を増やそうと電子図書館を導入したので、その利用率を分析し、市民ニーズの把握に努める。
取組項目番号 30	国際交流
杉田委員	交換学生派遣事業について、令和4年度はどのように行っていく予定か。
橋本課長	受入先であるアメリカのブルーミントン市からは、受入体制がまだ整っていないと連絡があった。 本市が受け入れる場合は、K I X泉州国際マラソンのホストランナーとして受け入れることになるため、大会事務局と連携して調整していきたい。 今までは現地の気候・風土・文化に触れる国際交流を行ってきたが、今後は、コロナ禍ということもあり、オンラインでの交流も検討していきたい。
川口委員	国際交流事業が始まったのはいつか。
橋本課長	平成5年から。
川口委員	国際交流事業に参加した方がその後、当該事業をどのように活かしどのように活躍されているか、個人情報関係で難しいかもしれないが、発表する場があればよいと思う。
橋本課長	令和3年度に、過去に国際交流事業に参加した方が集まり、オンラインで意見交換を行った。
平良委員長	いずみワールド・フェスティバル実行委員会の解散の経緯は。

橋本課長	資料を持ち合わせていないため、第3回評価委員会で回答する。
平良委員長	楽しみにしていた企画なので残念。新たに組織して実施する予定はあるか。
橋本課長	現時点では新たに組織して実施する予定はない。国際交流事業の中で新たな文化交流について模索しているところ。
取組項目番号17	生涯学習環境づくり
平良委員長	どのような理念をもって、青少年の家をリニューアルするのか。
橋本課長	どのような改修を行えばよいか市民ニーズを調査するため、現在、リニューアルに向けた業者を選定しているところ。 バリアフリー対応や冬場の閑散期の誘客を検討していく。
取組項目番号25	青少年の健全育成
杉田委員	こども会への関わり方について、市の考えは。
橋本課長	地域にこども会はあるものの、本市のこども会育成連絡協議会に加入していない団体も多い。最近では、地域スポーツチームもあることから、子どもたちはこども会より地域スポーツチームを選ぶことが増えている。子どもたちが居場所を取捨選択できることは良いことだと考えている。
事務連絡	
鍛冶次長	本日確認いただいた意見を踏まえ、最終の取りまとめまでに報告書を作成のうえ、委員へ提示させていただく。 お預かりした質問は次回回答する。
	以上